

|     |          |
|-----|----------|
| 活動名 | 18. 学術活動 |
|-----|----------|

科学的根拠に基づいた小児保健活動を展開するには、日々の相談活動や他施設との連携活動、さらに情報収集、調査活動などで集積されたデータを分析し、これを広く学術研究の場で討論することが不可欠である。平成23年度には、研究活動を通じて集積されたエビデンスに基づいて、医師、保健師等による下記の学術活動を実施した。

## (1) 論文発表・報告書等

| 題名   | 著者名                                   | 発表誌名   |              | 発行年  |
|--|---------------------------------------|--|--------------|------|
|  |                                       | 誌名   | 巻：号：頁        |      |
| 乳幼児健診における新しい評価の視点 子育て支援と発達支援                               | 山崎嘉久                                  | 愛知県小児科医会会報                                       | 93:4-9       | 2011 |
| 保健師「魂」が熱くなる瞬間 住民や仲間と歩き出すとき                                 | 加藤恵子                                  | 保健師ジャーナル   | 68:1:13-16   | 2012 |
| 乳幼児健診から保育園につなげる支援 ～乳幼児健診における子育て支援の必要性の判定について               | 山崎嘉久                                  | 保育と保健  | 18:1:61-64   | 2012 |
| 発達障害の観点からみた子ども虐待への対応                                       | 久野千恵子                                 | 月刊 地域保健  | 2012:2:46-51 | 2012 |
| 乳幼児健診における新しい評価の視点  | 山崎嘉久                                  | 日本小児科医会会報  | 43:4:155-159 | 2012 |
| 母子保健情報の利活用に関する研究 ～乳幼児健診の個別データを利活用する情報システムの実用化              | 山崎嘉久、加藤恵子、幾田純代、小栗智江子、浅井洋代、田中太一郎、永井亜貴子 | 厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）平成21～23年度総合研究報告書 | in print     | 2012 |
| 妊娠期からハイリスク家庭を把握するための15質問項目へ検討 ～オレゴン州の虐待予防プログラムのふりわけ項目を参考に～ | 加藤恵子、小林純子、幾田純代、出口さとみ、山崎嘉久             | 健やか親子21を推進するための母子保健情報の利活用に関する研究 平成23年度 総括・分担報告書  | in print     | 2012 |
| 母子保健情報の利活用に関する研究 ～保健所単位での乳幼児健診の個別データ集積システムの実用化             | 浅井洋代、加藤恵子、幾田純代、小栗智江子、田中太一郎、永井亜貴子、山崎嘉久 |  | in print     | 2012 |

### 第3章 活動別の実績とその評価

#### (2) 著書

| 書名                               | 著者名                 | 版数        | 発行社     |     | 発行年   |
|----------------------------------|---------------------|-----------|---------|-----|-------|
|                                  |                     |           | 社名      | 所在地 |       |
| ふだんのかかわりから始める<br>子ども虐待防止&対応マニュアル | 山崎嘉久、前田 清、白石<br>淑江  | 改訂第<br>2版 | 診断と治療社  | 東京都 | 2011年 |
| 学校における思春期やせ症への<br>対応マニュアル        | 山縣然太郎、松浦賢長、山<br>崎嘉久 | 初版        | 少年写真新聞社 | 東京都 | 2011年 |

#### ※ 保健センター等による発行冊子

- 1) 軽度発達障害児の理解と保育（平成23年度保育リーダー研修報告書）  
あいち小児保健医療総合センター総合診療部・保健室発行（平成24年3月発行）
- 2) 平成23年度 時間外電話相談「育児もしもしキャッチ」相談情報分析報告書  
あいち小児保健医療総合センター保健室発行(平成24年5月発行)
- 3) ACHEMEC の仲間たちー子どもと家族の心に安心と安らぎをー（ボランティア活動報告集11）あいち小児保健医療総合センター保健室発行(平成24年5月発行)
- 4) サインズ・セーフティ・アプローチ（SoSA） 子どもの虐待防止のための家族支援（母子保健スキルアップ研修会報告書）あいち小児保健医療総合センター保健室発行（平成24年3月発行）

#### (3) 学会・学術研究会報告

| 題名                                     | 発表者                                       | 年月日                       | 学会等名称            | 場所   |
|--|---|---------------------------|------------------|------|
| ブラジル学校での学校健診の試み ～日本の学校健診モデルの適用の可能性について | 山崎嘉久、長嶋正實、小島祥美                            | 201.07.23                 | 第57回東海公衆衛生学会     | 東浦町  |
| 新しい乳幼児健康診査結果集積における母子保健情報データシステムの運用について | 浅井洋代、大野敦子、森本光代、久野千恵子、加藤恵子、山崎嘉久、幾田純代、小栗智恵子 | 201.07.23                 | 第57回東海公衆衛生学会     | 東浦町  |
| 乳幼児健診における情報の利活用に関する検討                  | 山崎嘉久                                      | 2011.08.12～<br>2011.08.14 | 第114回日本小児科学会学術集会 | 東京都  |
| 妊娠期からハイリスク家庭を把握する体制の試み-オレゴン州の虐待予防プログラ  | 加藤恵子、久野千恵子、浅井洋代、山崎嘉久、塩之谷                  | 2011.9.1～<br>2011.9.3     | 第58回日本小児保健協会学術集会 | 名古屋市 |

|  |   |                           |                           |      |
|--|---|---------------------------|---------------------------|------|
| ム適用の可能性の検討について-                              | 真弓、白石淑江   |                           |                           |      |
| 母子保健情報の利活用 -保健所単位での乳幼児健診の個別データ集積システムの構築について  | 浅井洋代、久野千恵子、加藤恵子、山崎嘉久、幾田純代   | 2011.9.1～<br>2011.9.3     | 第58回日本小児保健協会学術集会          | 名古屋市 |
| 小児センターでの保健師による相談分析                           | 久野千恵子、浅井洋代、藤恵子、山崎嘉久   | 2011.9.1～<br>2011.9.3     | 第58回日本小児保健協会学術集会          | 名古屋市 |
| 世界の学校保健活動と子どもの笑顔 ～アジア・アフリカそして日本 みんな違ってみんないい～ | 衛藤 隆、山崎嘉久   | 2011.9.1～<br>2011.9.3     | 第58回日本小児保健協会学術集会 国際シンポジウム | 名古屋市 |
| 妊娠期からハイリスク家庭を把握するための15質問項目への検討               | 加藤恵子、大野敦子、浅井洋代、山崎嘉久、小林純子、塩之谷真弓、幾田純代                                   | 2011.10.19～<br>2011.10.21 | 第70回日本公衆衛生学会              | 秋田市  |
| 子どもの事故予防啓発のためのチェックシートの開発 -C市の事故予防サーベランス事業-   | 大野敦子、浅井洋代、加藤恵子、山崎嘉久   | 2011.10.19～<br>2011.10.21 | 第70回日本公衆衛生学会              | 秋田市  |
| 乳幼児健診からつなげる支援 ～子育て支援の必要性の判定を用いて              | 山崎嘉久  | 2011.10.19～<br>2011.10.21 | 第70回日本公衆衛生学会 シンポジウム       | 秋田市  |
| 取組みのデータベース及び冊子「セレクト」の利活用状況-健やか親子21ホームページ-    | 田中太一郎、永井亜貴子、荒木田美香子、市川香織、尾島俊之、近藤尚己、鈴木孝太、玉腰浩司、仲宗根正、原田正平、松浦賢長、山崎嘉久、山縣然太郎 | 2011.10.19～<br>2011.10.21 | 第70回日本公衆衛生学会              | 秋田市  |
| 「健やか親子21」の取り組みと出生数の変化                        | 永井亜貴子、田中太一郎、松浦賢長、山崎嘉久、尾島俊之、玉腰浩司、荒木田美香子、市川香織、山縣然太郎                     | 2011.10.19～<br>2011.10.21 | 第70回日本公衆衛生学会              | 秋田市  |
| 気になる子どもと家族のサポート-発達障害児支援システムと連携のあり方-          | 山縣然太郎、山崎嘉久  | 2011.10.19～<br>2011.10.21 | 第70回日本公衆衛生学会 シンポジウム       | 秋田市  |
| 碧南市における学童期の生活習慣病対策事業 ～学校保健と地域保健の協働を目指して～     | 藤井琴弓、小田京子、和田恵子、山崎嘉久   | 2011.10.19～<br>2011.10.21 | 第70回日本公衆衛生学会              | 秋田市  |
| 乳幼児健診から保育園につなげる支援 ～乳幼児健診における子育て支援の必要性の判定について | 山崎嘉久  | 2011.11.12～<br>2011.11.13 | 第17回日本保育園保健学会 シンポジウム      | 岡山市  |
| 虐待児支援における医療機関と学校の連携                          | 山崎嘉久  | 2011.11.11～<br>2011.11.13 | 第58回日本学校保健学会 シンポジウム       | 名古屋市 |

### 第3章 活動別の実績とその評価

|  |                                |                           |                       |      |
|--|--------------------------------|---------------------------|-----------------------|------|
| ブラジル学校における日本の学校健診手法適用の可能性 一岐阜県中濃地域に所在するブラジル学校を事例として一 | 小島祥美、山崎嘉久                      | 2011.11.11～<br>2011.11.13 | 第58回日本学校保健学会          | 名古屋市 |
| 医療機関と地域の関係機関との連携に関する検討                               | 久野千恵子、山崎嘉久                     | 2011.12.02～<br>2011.12.04 | 日本子どもの虐待防止研究会第18回学術集会 | つくば市 |
| 予防接種実施状況アンケート結果から小児の予防接種の医療機関での実施状況                  | 大野敦子                           | 2012.01.20～<br>2012.01.2  | 平成23年度愛知県公衆衛生研究会      | 東浦町  |
| アチェメック健康スクールへの取り組みー小児肥満生活習慣病予防プログラムー                 | 森本光代、大野敦子、久野千恵子、浅井洋代、加藤恵子、山崎嘉久 | 2012.01.20～<br>2012.01.2  | 平成23年度愛知県公衆衛生研究会      | 東浦町  |
| 母子保健情報の利活用 ～新しい乳幼児健康診査における個別データ集積システムの構築について         | 浅井洋代、加藤恵子、山崎嘉久、幾田純代            | 2012.02.05                | 平成23年度愛知県小児保健協会研修会    | 大府市  |

#### (4) 学会・研究会の開催

#### あいち・こころの診療医研究会

| 実施日   | 内容   | 講師                   |
|---|--|----------------------|
| 平成23年<br>9月18日(日) 13:30～15:30<br>愛知県産業労働センター  | 第1回実践講座：参加21名<br>「被災地支援の報告」<br>「災害にあった子どものメンタルヘルス」 | 川村 昌代<br>吉川 徹(名古屋大学) |
| 平成23年<br>10月23日(日) 13:30～16:00<br>愛知県産業労働センター | 第2回実践講座：参加23名<br>「福島県で行っている児童支援を含め、愛知県内で出来ること」     | 杉山 登志郎(浜松医科大学)       |

#### PALS 講習会

Pediatric Advanced Life Support(PALS)は、米国心臓協会(AHA)が米国小児科学会(AAP)などと協力して提唱している小児のための高度救命蘇生法。日本小児集中治療研究会(JSPICC)が日本でのAHAのITO(International Training Organization)として認定。そのトレーニングサイトとして、当センターにおいて実施した。

- ・ 平成23年12月17日(土)～18日(日)

#### 愛知県小児保健協会 平成23年度総会兼研修会

- ・ 平成24年2月5日(日) あいち小児保健医療総合センター 大会議室 参加：54名
- ・ 特別講演

「発達障害児への支援」

ー社会的自立に向けた子どもへの支援方法ー

- 講師：心身障害者コロニー 中央病院  
児童精神科医長 東 誠氏  
座長 愛知県市町村保健師協議会 副会長 水谷啓子

・ 一般演題：7題

1 研究発表 ー第1部ー 座長 愛知県尾張福祉相談センター 童専門監 <sup>まえだ</sup>前田 <sup>きよし</sup>清

- (1) 自分の生活を見直し、命と健康を大切にできる生徒の育成  
～栄養教諭や外部機関と連携しながら進める食の指導～

<sup>たけうちきょうこ</sup>  
○ 竹内京子（武豊町立 武豊中学校）

- (2) 地域への救急蘇生講習会の試み  
～学童保育に通う小学生を対象として～

<sup>やまだけいこ</sup>  
○ 山田恵子（中部大学生命健康学部保健看護学科）

- (3) 救急医療からみた学校保健 2011  
<sup>いなさか</sup>稲坂 <sup>ひろし</sup>博（愛知県医師会）

- (4) 豊川市における麻しん定期予防接種の状況（2006—2010）  
～最近見えてきた課題～

<sup>ささきしゅんや</sup>  
○ 佐々木俊也（豊川市医師会）

2 研究発表 ー第2部ー 座長 愛知県保健師会 会長 <sup>せんが</sup>千賀 <sup>みなこ</sup>美奈子

- (5) 小児科外来での「赤ちゃんスキンケア教室」の試み

<sup>やぎさおり</sup>  
○ 八木抄織（川井小児科クリニック）

- (6) 発達障がい児の不正咬合への対応

<sup>みぞぐちりちこ</sup>  
○ 溝口理知子（愛知県歯科衛生士会）

- (7) 母子保健情報の利活用  
～保健所単位での乳幼児健診の個人データ集積システムの構築について～

<sup>あさいひろよ</sup>  
○ 浅井洋代（あいち小児保健医療総合センター）